

## 第12回「蕨の会」真田関連沼田史跡巡り（18年4月11日）

成澤文和（4組）

4月11日（水）同期11名が沼田駅前に集合した。

メンバーは上原昇君（2）、関賢治君（2）、原田義則君（3）、浅倉英樹君（4）、丸山暢久君（4）、塩川明男君（6）、宮原豊君（9）、神宮進君（10）、山岸敏夫君（11）、中山正光君（11）と成澤の11名でその中で原田君は昼間の部としては初参加、また昨年5月の真田丸関西ツアーでツアーコンダクターとして大変お世話になった山岸君がはるばる大阪から参加してもらったことも嬉しい限りであった。

内堀信君（6）は第3回の中仙道蕨宿散策以来久しぶりの参加だったが、都合により早めに到着後指定のコースを廻った後帰宅したので今回は12名の参加となった。

今回は昨年の5月に実施した真田丸関西ツアーに続く真田関連史跡巡り第2弾となった。

群馬県内の史跡巡りとしては第7回の富岡製糸場と高崎城を巡るツアーに続いて二回目となり、前回同様高崎市在住の中山君に幹事をお願いした。

最初に訪れたのは沼田榛名神社で真田信之が改築した真田ゆかりの神社である。群馬県にはもう一つパワースポットで有名な同名の榛名神社（高崎市）があるが、よく混同されることが多いという。（筆者も混同した一人であった）

次に向かったのは沼田城址公園で桜吹雪の中で中山幹事が手配してくれたガイドの説明を園内を廻りながら1時間受けた。

戦国時代の沼田は北関東の要衝であり、軍事上の重要拠点として上杉、北条、武田氏による争奪戦の舞台となり真田昌幸～北条へと支配が変わったが、豊臣秀吉による小田原征伐（北条方による利根川を挟んで沼田城対岸の真田方の名胡桃城奪取が発端）後信之の領地となった。

河岸段丘の上に築かれた当時の沼田城は五層の天守を持ち、信之が1596年～1614年に掛けて建てたとされている。当時関東に於ける五層の天守があったのは江戸城以外は沼田城だけであった。

この名城も五代信利の時代に放漫政治等により真田沼田藩は1681年に改易となり、その後幕府により全て破却されて以後天守閣等は再建されることはなかった。

現在は西櫓台と石垣、さらに本丸の堀の一部がわずかに残っているのみで、本丸跡には往時を偲ぶように鐘楼が建てられていた。

もし天守閣が残っていれば国宝か重要文化財になっていただろうと考えながら昼食場所である「姫本」に向かった。

ここでは中山幹事が事前に一番人気の真田御膳を予約してあったので食後の空いた時間で筆者より今後5年間の当会としての名所・旧跡巡りの内容等について説明があり一同了承した。

次に訪れたのは二代藩主信吉の墓所がある天桂寺でさらに小松姫（信之夫人）の墓所があり、1

860年建造の格式のある山門を持つ正覚寺訪れた。二つの菩提寺をはじめ市内至る所に真田の家紋である六文銭が見受けられたのは感慨無量であった。

沼田での散策後高崎へと向かった。高崎駅到着後駅近くの中山幹事行きつけの「庄や」で懇親会が開催された。

同窓会や同期会それに65期各同好会の話などで盛り上がり、あっという間に2時間が過ぎた。

今回の沼田史跡巡りも中山幹事の綿密な計画のお陰でスムーズにそして楽しく廻ることが出来て感謝です。

次回は今秋に城下町岩槻の散策になっており、又来春は仙台真田氏関連の史跡巡りを予定していますが、元気で参加したいものです。

(4月12日記)

次ページにも写真を添付



沼田駅前にて



沼田榛名神社にて



須賀神社にて